

## 2013年チェコ大統領選挙（決選投票）結果速報

平成25年1月28日

在チェコ日本国大使館

1月25日及び26日、チェコにおいて任期満了（5年）に伴う大統領選挙の決選投票が実施されたところ、結果概要以下のとおり。

### 選挙結果概要

- 直接選挙制導入後初めて実施された大統領選挙において、ゼマン候補（得票率54.80%）がシュワルツェンベルグ候補（得票率45.19%）を破り、次期大統領に選出された。投票率は59.11%。
- 新大統領の任期は3月8日から開始予定。

### 1. 投票結果（26日現在の開票速報）

チェコ統計局の開票速報（開票率100%）によれば、決選投票の結果は以下のとおり。なお、投票率は59.11%。

候補者名（役職等／所属政党／政治的思想傾向）	得票率（%）	得票数（票）
○ミロシュ・ゼマン（元首相／S P O Z／中道左派）	54.80%	2,717,405
カレル・シュワルツェンベルグ（副首相兼外相／T O P O 9 党首／中道右派）	45.19%	2,241,171

### 2. 今次選挙の概要

（1）昨年の憲法改正で直接選挙制が導入されてから実施される初めての大統領選挙（これまで上下両院による間接選挙制）。任期5年、連続三選不可。大統領は国家元首であるが、政策への影響力は首相と比較し限定的。主な権限は閣僚の任免、下院の召集・解散、法律への署名、対外的な国家代表、軍の最高司令官、裁判官の任命、栄典の授与、恩赦の決定。

（2）1月11日及び12日に実施された大統領選挙（第一回投票）において、いずれの候補者も有効票の過半数を獲得出来なかったことから、得票率上位2候補のゼマン候補とシュワルツェンベルグ候補との間で決選投票が行われた。

（3）今次大統領選挙は、現右派連立政権の支持率が13%にまで落ち込んでいる中で実施され、決選投票では、左派寄りのゼマン候補が、現副首相兼外相のシュワルツェンベルグ候補を抑え、大統領に選出された。

（4）クラウス現大統領の任期は3月7日迄であり、新大統領の任期は3月8日から開始される予定。

（了）